

泉のほとり

● 顕現後第一主日

今日の詩篇 「第九二編」

主の家に植えられ

わたしたちの神の庭に茂ります。



星が先立って

東方の国から博士たちがエルサレムに来て言いました。「生まれたユダヤ人の王はどこにいますか」と。彼らは「ひよつとして、ユダヤ人の王が生まれたのではありませんか」とは聞きませんでした。生まれたユダヤ人の王は「どこにいますか」と聞いたのです。更に「私たちはその方の星が昇るの見たので、拝みに来しました」と言いました。

無数にある夜空の星の中で新しい星が昇るのを見て来たと言っています。しかし「メシア」が生まれることは永遠の昔、天で定められた奥義です。しかも預言者たちにでさえメシアが現れる時期については秘密にされてきたほどのことです。マリアにもヨセフにも、また羊飼いたちにも、御使いを通して知らされた特別な事柄です。人間の知恵、あるいはまたま新しい星を見つけて、この星は「ユダヤ人の王の誕生だ」と言い当てられるような事柄ではありません。博士たちのイスラエルへのこの旅は、天からよるものです。遠い旅をしてきて、何の迷いもなく「ユダヤ人の王はどこにいますか」と聞く博士たちの言葉にそれはよく現れています。

確かな事実として、博士たちが言う言葉にユダヤ人たちが、またヘロデ王は戸惑いました。現役の王ヘロデの王宮には子供が生まれた事実はないのです。ヘロデは「メシアはどこで生まれるのか」と聖書を調べさせました。その結果、博士たちが知らされたのは「ベツレヘム」という地名です。しかしそれだけでした。しかも博士たちは外国人です。更に町にあるのは宮廷でなく、ごく普通の家庭です。それでも彼らは自国に帰ることなく、ベツレヘムに向かって出発しました。

ここで見過ごしてはならない事実、聖書が「ベツレヘム」だと語ったことです。神のことはである聖書が「ベツレヘム」と知らせているのです。博士たちは「私たちは星を見て来ただけで、聖書が言っていることは信用できません」ということではなかったのです。知らされた神のことはにしたがって、ベツレヘムへ行きました。神はそのような心の彼らと一緒におられました。星が先立って彼らのために動いたのです。神の民と言われる人たちの地で、神さまはこの異邦人の博士たちのために星を動かして、彼らを導かれました。「彼らだけのために」と言ったら、言い過ぎでしょうか。彼らは星が先立つのを見て喜びました。「喜びに喜びに喜び、非常に喜んだ」と訳したいところですが、幼子イエスのところにたどり着いて、黄金、没薬、乳香をささげつつ、ひれ伏す時にはどれほどの喜びがあったのでしょうか。彼らの旅路全体をたどってみると、どうして天体まで動かして彼らを導かれたのかということが分かる気がします。

彼らに知らされた神のことは「ユダヤ人の王の誕生」、また「ベツレヘム」という二つと言えます。しかしこの確かな真理、揺るぎない事実、神のことはを受けた者たちは言葉においても、行動においても迷いがありませんでした。キリストに出会って喜ぶ結末で終わる彼らの旅路は、今日の私たちに「この方こそ、いのち、道、真理」として指し示しています。「あなたがたはこの方の確かな、揺るぎない、真理のことはを受けて、それぞれ残りの人生の旅路を生きていきなさい」と語ってくれているのではないかと思います。新しい年を迎えました。博士たちがもった純真な心で神のことはを受けてその確かさの上で唯々生きていきたいと思えます。(マタイ二・一〜一二)

祈り

○ 天にいますわたし共の父なる御神、新しい年、最初の聖なる日に、わたし共をみ前に集めてくださいませ。このようにし得る礼拝の特権を、その恵みを、心から感謝いたします。年改まるといえども、わたし共の方が改まるわけではありません。疲れは疲れのままで残り、弱さはますますわたし共の肉体と心を描るえようといたします。年改まるといえども、この世界に大きな変化が起きるわけはありません。抑圧はそのまま続き、貧しさはなお、そのまま留まります。

教会もまた、年改まるといえども、その汚れから自由にならず、その罪からなお解き放たれることなき嘆きの中にあります。しかし、あなたはそれでも約束を与え、その約束を変えることのない方でありませ。わたし共はそれを信じるが故にここに参りました。あなたにすべてを委ねたいと願って参りました。自分の罪をも顧みず、いや、その罪を知ることが故に、あなたの前に立とうとしています。はばかりことなく恵みの御座に近づこうと願うからであります。

す。御言葉と聖餐とによって、肉体と心が満ち足りるほどの喜びを味わわせてください。このあなたの慰めの御言葉を必要としている者がたくさんおります。教会に来ることを知らない者、なお偶像の前にひざまづくことしか知らない者、悲しみと悔めさの中にあって希望を見出し得ない者、教会の中においても悲しみと孤独の中にいる者、肉体の弱さを抱える者、老いていく肉体を抱えてただ耐えるしかない者がいます。信仰の悔みの故にここに来て慰めを味わうことができない者がいます。それらすべての者を御手のうちに捉えて放されることがありませんように。

わたし共の国を顧みてください。国の政治に責任を持つ者、国や町の歩みにそれぞれ務めをもって貢献しなければならぬ者、日本の経済を担う者、小さな仕事をひとつひとつ果たしながら社会に生きようと願っている者、これらの人々を、神を信じる信じないにかかわらず、あなたの御心を行方器として用いてください。地上に生きるひとりひとりを、信仰と希望を愛をもつてこの社会に生きる者として、正しく、自覚と喜びをもって生きることができるようになってください。

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○ 今日(12月28日)は新年礼拝です。礼拝後のホール集会はありませんが、一二時半からカナルームで役員懇談会を聞きます。

○ 来週の第二礼拝は成人式礼拝です。群れの中で成人を迎えた人たちのお祝いをします。

○ 古村牧師は10日朝10時半からの青山学院大学の礼拝で説教の奉仕をします。

○ 次の洗礼・転入会式は、四月一日のイースター礼拝です。その日に受洗・転入会をご希望の方は、入信記を書いて、一月二十八日まで、牧師あてにご提出ください。

ケニヤだより

約束の地、起工式

コイノニア教育センターは創立一五周年を迎えます。創立当時から自らの土地と建物を持ち、地域に奉仕する教育事業を継続できることを祈り求めてきました。

昨年、多くの方々の助けによって、念願の土地を首都ナイロビから七〇キロ離れたマイ・マヒウに一〇エーカー・五三・六〇坪の土地を購入することができました。

そして今は建設のための資金集めをしています。

建物を建てるほうが、土地を買うよりはるかに高額ですから、歩みはゆつくりです。

しかし、与えられた資金で少しずつでも建て始めることを決め、まず建築現場の事務所、管理人の宿舍、トイレ、倉庫を作りました。これは一時的な建物です。そして、丸太と鉄線で敷地を囲みました。いよいよ、恒久的な施設を作り始める前に、この土地を神様に捧げ、感謝の礼拝をする事にしました。一月八日コイノニアで働く教師、スタッフ、キヌーナ教会のメンバー、生徒

代表、村長、隣の土地の持ち主、これから資材を供給してくれる業者など、六〇名が集まって、起工式を行いました。礼拝の後、代表たちが小学校を建てる場所に鍬を入れました。そして交わりの時を持ちました。

(市橋記)



聖書の会へどうぞ

1月10日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「無知な時代を」

使徒17章22〜34節

黄允澍副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「この世が崩れ去るとき」

ルカ21章5〜9節

古村和雄牧師

ミニコンサート

2月1日(木) 12時30分

パイオリン演奏 中川あんな

次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 今日もまた新しく 121番

説教 「世の罪を取り除く」

聖書ヨハネ一章29節〜34節

説教者 古村和雄牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 1番 533番

詩編 第92篇

説教 「求め、探し、たたく」

聖書マタイ7章6節〜12節

説教者 黄允澍副牧師



新年礼拝 (午前10時)

讃美歌 今日もまた新しく 121番

説教 「神に選ばれ、愛されている者たち」

聖書 コロサイ3章12節～21節

司式 山名 隆史兄 (新約P371)

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「来たれ、小さな子供たち」D.カド

○「今日もまた新しく」聖公会讃歌16番

1. 今日もまた新しく 鳥 歌い 喜ぶ
み言葉に 生かされて たたえよう この日を
2. 草木にも 恵み満ち 雨 露の 輝き
神の園 しのぼせる たたえよう この日を
3. ひとすじの 光より 生まれでる この朝
声高く ほめ歌え み手による この朝 アーメン

○ピアノによる讃美

「さかえにみちたる」

○聖歌隊による讃美

「主イエスを愛する」 J.S.バッハ
主イエスを愛する身こそ幸なれ
心の捕手も 柄もいやさる
我が主は愛しておのれを給いぬ
ああ 我れ主よりなどかは離れん

○讃美歌 121番 (1.4)

1. 馬槽のなかに うぶごえあげ
木工の家に ひととなりて
貧しきうれい 生くるなやみ
つぶさになめし この人を見よ
2. 食するひまも うちわすれて
しいたげられし ひとをたずね
友なきものの 友となりて
こころくだきし この人を見よ
3. すべてのものを あたえしすえ
死のほかなにも むくいられで
十字架のうえに あげられつつ
敵をゆるしし この人を見よ
4. この人を見よ この人にぞ
こよなき愛は あらわれたる
この人を見よ この人こそ
人となりたる 活ける神なれ アーメン

聖餐曲「アリア」E.ハイ

後奏曲「たえにうるわしき」D.グスタフデ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。